
ブラウンさん

メフィスト牛子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ブラウンさん

【Nコード】

N9657C

【作者名】

メフィスト牛子

【あらすじ】

誰もみないでください。見ても責任とれません。単なる詩です。初投稿なので思いつきのみで書いた試験的なものです。とにかく見ないでくださいね！

（前書き）

苦情などはなしでお願いします。

正義感が強くもなく弱くもなく、かといって
好き嫌が多いとも言いきれない。

ありもしない味噌ラーメンを、

不味そうに食べる君は

地上に舞い降りた天使

・・・・・・・・・・・・・・・・
無理難題の青春、

汗くさい高見盛は
もういない

あなたは誰？

そして僕は誰ですか？

ふいに、

聞いてみたくなる。

あんまり興味は
ないのだけれど。・・・・・・・・
・・・・・・・・

いかにも悲しげな
物語を聞かせよう

もうこんなに
大きくなってる。

キミから会心の一撃
ダメージ - 50000 pt

でもぼくは
あきらめること
できずにいるよ

味噌ラーメンうまいかい？
でもそれは、
弱い心が作り出した
まぼろしさ幻想曲

にも関わらず
舌を火傷したキミを
気遣うあまり僕まで火傷。

夢見るように
空手チョップ

ちよつと本気で痛かった
それからズリと、手羽先一丁。
.....
.....
意味がわからないよ
女ごころは、ミステリー

気づいていたかな？
ずっと前から

キミの間合いに

入っているんだ

無意味な高速移動で

キミを驚かせたい。キミを幸せに、

したい訳ではないけれど・・・

・・・

愛してる。

・・・訳ではないのだけ

れど。・・・

・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9657c/>

ブラウンさん

2010年10月13日02時14分発行